

岩手医科大学倫理審査委員会記録

1. 開催日時：2026年4月2日（木）16時40分から17時45分まで

2. 開催方法：Web開催（Zoom）

3. 出席・欠席者：別紙のとおり

4. 議 事：

(1) 委員長の選出について

前任の石垣委員長の推薦を受けた伊藤智範委員を互選のうえ委員長とすることを決定した。

(2) 副委員長の選出について

伊藤委員長から推薦のあった、医学部丹野高三委員、医学部板持広明委員、歯学部原田英光委員、薬学部田浦太志委員、看護学部遠藤龍人委員を互選のうえ副委員長とすることを決定した。

(3) 新任の委員について 資料2

資料2により、委員会決議において必要と認められた者2名を確認したほか、今年度から新任となる委員の方は委員会の最後にご挨拶いただくことを確認した。

(4) 倫理申請に係る審査 3件 資料3-1、4-1、4-2、4-3

伊藤委員長の司会進行で、以下のとおり審議した。なお、委員会の開催に先立ち、審査の種類及び審査件数並びに委員会の成立について確認した。

1) 受付番号：MH2026-001

課 題：受容体 PET 画像による DBS 術後統合失調症的精神症状の予知に関する基礎的研究

申請者：脳神経外科学講座 教授 赤松 洋祐

研究統括責任者：脳神経外科学講座 教授 赤松 洋祐

主任研究者：脳神経外科学講座 教授 赤松 洋祐

分担研究者：(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について質疑応答（出席者：西川非常勤講師（分担研究者））のうえ審査した結果、本課題を「継続審査（迅速審査②による再審査）」とした。

【審議内容】

- ・研究計画書 表紙について、Version2.0は「改正」に修正すること。また、ヘッダーについても作成履歴のVersionを表紙と揃えること。
- ・研究計画書 5.2.3.登録先について、郵便番号は「028-3695」に修正すること。
- ・研究計画書 7.8.健康被害の補償について、文末の「十分な医療が提供される」という受け身の表現は、「十分な医療を提供する」「十分な医療を提供できるよう努める」などの表現への修正を検討すること。
- ・その他、術後に生じる認知機能低下の程度を考慮し、代諾者による同意撤回を認めるなど対応を検討すること。

2) 受付番号：MH2026-002

課 題：がん患者への緩和ケアにデジタルデバイスを用いた患者報告アウトカムの活用を検証するパイロット調査

申請者：共通基盤看護学講座 教授 菖蒲澤 幸子

研究統括責任者：共通基盤看護学講座 准教授 伊藤 奈央

主任研究者：共通基盤看護学講座 准教授 伊藤 奈央

分担研究者：(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について質疑応答（出席者：伊藤准教授（研究責任者））のうえ審査した結果、本課題を「継続審査（迅速審査②による再審査）」とした。

【審議内容】

- ・研究計画書 目次について、10.3.3.と12.2.が抜けているので記載すること。

3) 受付番号：MH2025-142

課題：腓脛十二指腸切除術後の創感染予防における局所陰圧閉鎖療法の通常ドレッシングに対する優越性検証ランダム化比較試験

申請者：外科学講座 教授 佐々木 章

研究統括責任者：外科学講座 准教授 梅邑 晃

主任研究者：外科学講座 准教授 梅邑 晃

分担研究者：(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について質疑応答（出席者：菊地大学院生（分担研究者））のうえ審査した結果、本課題を「継続審査（迅速審査②による再審査）」とした。

【審議内容】

- ・申請書 臨床研究保険加入の有無について、「保険診療下で実施されるため」と記載があるが、本研究は侵襲有の介入研究であり、保険診療下（それぞれの患者に合った適切な医療としての実施）ではなく、研究目的で患者を2つの治療法にランダムに振り分けて実施されるものであることから、適切な内容に記載を修正すること。また、「各実施施設」という記載は共同研究を連想させるため、本研究が単施設研究であることを踏まえた記載に修正すること。
- ・申請書 7. 倫理審査申請の要点について、「ランダム化する研究である点」「患者の個人情報を取り扱う点」という記載は、その内容を具体的に記載すること。
- ・申請書 13. 2. 1. 試料の保存及び廃棄について、「該当あり」として「研究終了報告書提出後に廃棄する」を選択しているが、研究計画書に試料に関して記載が見受けられないため、取り扱う場合は、研究計画書に必要な項目を設けて記載すること。また、取り扱わない場合は、本項目は「該当なし」を選択すること。
- ・申請書 13. 2. 2. 研究に用いられる情報及び当該情報に係る資料の保管及び廃棄について、研究計画書 10. 3. 5. 1. では「研究終了日から5年／結果公表日から3年（いずれか遅い日）」と記載があるため、本項目は「保管する」を選択し、研究計画書に記載されている内容に修正すること。
- ・申請書 15. 2. 監査について、研究計画書 11. 2. では「必要時以外の監査は予定していない」と記載があるため、本項目は「実施しない」「その他」を選択のうえ、理由を記載すること。
- ・研究計画書 0. 3. 対象、4. 患者選択基準について、両項目の記載内容を統一すること。また、条件として「対象期間」を明示すること。
- ・研究計画書 2. 1. 背景について、2段落目に「局所陰圧閉鎖療法は・・・保険適応となった。」と記載があるが、2021年5月に保険適応になったのは手技ではなく特定保険医療材料についてと思われるため、正しい内容に記載を修正すること。
- ・研究計画書 2. 2. 研究の科学的合理性の根拠について、当院における「NPWT」「ドレッシング」などの実績を追記すること。
- ・研究計画書 4. 2. 除外基準において、(3)(4)は適格基準の反対条件となるため削除すること。
- ・研究計画書 6. 3. 2. 中止・完了規準について、単なるガーゼやポリウレタンフィルムと特定保険医療材料とでは全く意味合いが異なるため、通常の創傷被覆材が何を指しているのか、明確に記載すること。
- ・研究計画書 10. 3. 2. 1. 個人情報等の有無について、②は「無し」に修正すること。また、要配慮個人情報の「CRF」は「診療情報」に修正すること。
- ・研究計画書 10. 3. 3. 安全管理責任体制について、組織的安全管理において、権限を付与する者を記載すること。
- ・研究計画書 14. 研究費および利益相反について、外科学講座の講座研究費と明記すること。
- ・説明文書 5. この研究の内容・方法について、医療知識のない研究対象者への説明文書であることから、「ドレッシング」や「創部培養検査」がどういったものであるか、分かりやすく丁寧に説明を記載すること。
- ・説明文書 6. この研究で使用する機器について、保険適応の記載があるが、特定保険医療材

料のことと思われるため、計画書の修正と合わせて、本項目についても記載を修正すること。

- ・説明文書 7. 研究終了後の治療について、8. 予測される利益と不利益、副作用について、項目名のフォントを他と統一すること。
- ・説明文書 14. この研究の資金と利益相反について、外科学講座の講座研究費と明記すること。
- ・説明文書 21. 研究に関するお問い合わせ先について、内線番号は携帯番号ではなく医局等の番号に修正すること。

(5) 報告事項

1) 3月委員会議事録 資料5

伊藤委員長から、標記の件について資料に基づき報告があった。

2) 研究実施状況報告書（終了報告・経過報告） 28件 資料6

伊藤委員長から、標記の件について資料に基づき報告があった。

【医学部】

承認番号：MH2018-519（2018年8月2日承認）

研究課題名：心臓弁膜症の診療・予後調査のためのレジストリ研究

研究責任者：内科学講座循環器内科分野 助教 中島 祥文

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2018-525（2018年9月22日承認）

研究課題名：カテーテルアブレーション症例全例登録プロジェクト（J-AB レジストリ）

研究責任者：内科学講座循環器内科分野 准教授 大和田 真玄

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2019-042（2019年7月1日承認）

研究課題名：生分解性ポリマー薬物溶出ステント留置後に短期間の抗血小板剤2剤投与を受け
る患者の臨床成績調査：岩手医科大学関連病院による多施設共同前向きレジスト
リー(REIWA レジストリー)

研究責任者：内科学講座循環器内科分野 教授 森野 禎浩

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2020-017（2020年5月7日承認）

研究課題名：化学療法を施行する頭頸部がん患者における日本語版 PRO-CTCAE™の臨床応用
を目指した前向き観察研究

研究責任者：薬剤部 薬剤部長 工藤 賢三

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2020-020（2020年6月3日承認）

研究課題名：脳卒中レジストリを用いた我が国の脳卒中診療実態の把握

研究責任者：内科学講座脳神経内科・老年科分野 教授 板橋 亮

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2020-104（2020年8月6日承認）

研究課題名：人工知能を用いた全身疾患の画像診断補助および臨床意思決定支援システムの確
立

研究責任者：放射線医学講座 教授 吉岡 邦浩

報告の種類：終了報告

承認番号：MH2020-122（2020年9月3日承認）

研究課題名：フェンタニルクエン酸塩貼付剤使用患者におけるレスキュー薬の使用実態調査
研究責任者：薬剤部 薬剤部長 工藤 賢三
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2020-191（2021年3月30日承認）
研究課題名：転移性腎細胞癌患者における治療パターン、治療アウトカム及び医療資源利用状況に関する観察研究(POEM)
研究責任者：泌尿器科学講座 教授 小原 航
報告の種類：経過報告

承認番号：MH2020-221（2021年3月27日承認）
研究課題名：片頭痛患者の性格気質・心理特性に関する研究
研究責任者：内科学講座脳神経内科・老年科分野 講師 工藤 雅子
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2021-096（2021年8月5日承認）
研究課題名：非アレルギー疾患におけるヒトマスト細胞の機能の研究
研究責任者：医学部病理学講座機能病態学分野 教授 片岡 竜貴
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2021-135（2021年11月4日承認）
研究課題名：人工知能を用いた全身疾患の画像診断補助および臨床意思決定支援システムの確立-実地試験-
研究責任者：放射線医学講座 教授 吉岡 邦浩
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2022-015（2022年4月7日承認）
研究課題名：メンデル遺伝性疾患の理解：シンガポール小児における診断未確定疾患プログラム～TRPV6 遺伝子異常による新生児一過性副甲状腺機能亢進症の症例報告～
研究責任者：生理学講座統合生理学分野 准教授 鈴木 喜郎
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2022-046（2022年9月20日承認）
研究課題名：食物繊維が血糖変動に与える影響の検討
研究責任者：糖尿病・代謝・内分泌内科分野 教授 石垣 泰
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2022-080（2022年10月2日承認）
研究課題名：橈骨遠位端の形状と掌側ロックングプレートの検討
研究責任者：整形外科科学講座 講師 佐藤 光太郎
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2022-091（2022年11月9日承認）
研究課題名：自己免疫疾患における精神・神経病変に関わる新規炎症分子とその病態解明を目指した探索研究
研究責任者：医歯薬総合研究所 創薬・医療機器開発部門 教授 仲 哲治
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2022-105（2023年2月28日承認）
研究課題名：24-Segment Global Sphericity Index による胎児心機能評価と well-being 指標への有用性の証明
研究責任者：産婦人科学講座 教授 小山 理恵
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2023-023（2023年7月26日承認）
研究課題名：未分化大細胞リンパ腫に発現するKIR2DL4の役割の研究-
研究責任者：医学部病理学講座機能病態学分野 教授 片岡 竜貴
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2023-068（2023年12月28日承認）
研究課題名：日本頭部外傷データバンク プロジェクト 2023-
研究責任者：岩手県高度救命救急センター 講師 小守林 靖一
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2023-122（2024年2月27日承認）
研究課題名：慢性腎不全とがんを併せもつ高齢者の血液透析療法と外来化学療法を受ける体験
研究責任者：東8A 看護師長 細川 幸子
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2023-131（2024年7月10日承認）
研究課題名：手指衛生遵守率向上に向けた取り組みについての実践報告
研究責任者：内丸メディカル6階病棟 看護師長 濱野 佳子
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2024-110（2024年12月4日承認）
研究課題名：シスプラチン誘発性急性腎障害後の慢性腎臓病移行のリスク因子探索に関する後
ろ向き観察研究
研究責任者：薬剤部 薬剤部長 工藤 賢三
報告の種類：終了報告

【看護学部】

承認番号：N2021-3（2021年9月28日承認）
研究課題名：中小規模病院に勤務する看護師長の承認行為の体得にむけた教育プログラムの開
発-病院組織における看護師長を取り巻く承認の構造--
研究責任者：共通基盤看護学講座 准教授 佐藤 奈美枝
報告の種類：終了報告

承認番号：N2022-8（2023年1月13日承認）
研究課題名：助産師教育修了・卒業時の到達度自己評価に関する実態調査
研究責任者：成育看護学講座 教授 蛸崎 奈津子
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2023-096（2024年2月7日承認）
研究課題名：緩和ケア領域におけるがん患者への患者報告型アウトカム実装研究-
研究責任者：看護学部共通基盤看護学講座 准教授 伊藤 奈央
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2023-133（2024年4月18日承認）
研究課題名：「基礎看護過程実習」実習前準備教育としてのシミュレーション教育における学
生の学び
研究責任者：共通基盤看護学講座 准教授 柏木 ゆきえ
報告の種類：終了報告

【医歯薬総合研究所】

承認番号：HG2020-008（2020年6月4日承認）
研究課題名：東北メディカル・メガバンク計画三世代コホート調査7人家族の末梢血または臍

帯血を用いた複合オミックス解析基盤構築

研究責任者：いわて東北メディカル・メガバンク機構生体情報解析部門 教授 清水 厚志
報告の種類：終了報告

承認番号：HG2020-009（2020年6月4日承認）

研究課題名：東北メディカル・メガバンク計画三世代コホート調査一卵性双胎児の臍帯血を用いた DNA メチル化解析基盤構築

研究責任者：医歯薬総合研究所 生体情報解析部門 教授 清水 厚志
報告の種類：終了報告

承認番号：MH2023-045（2023年9月14日承認）

研究課題名：小児唾液エピゲノムリファレンスパネル構築と小児肥満児のゲノム・エピゲノム解析による早期肥満リスク要因解明

研究責任者：医歯薬総合研究所 生体情報解析部門 教授 清水 厚志
報告の種類：終了報告

3) 迅速審査及び承認済研究課題の実施計画変更・追加申請の審査結果報告 3月 45件 資料7

伊藤委員長から、標記の件について資料に基づき報告があった。また、現時点で承認となっていない研究課題が計4件ある旨あわせて報告があった。

以上

迅速審査（新規申請：4月2日判定分）審査結果

倫理審査委員会規程に基づいた迅速審査により、数名の倫理審査委員会 2026年3月1日時点の委員による書面審査にて、下記の申請案件を判定した。

1)

受付番号	MH2026-003
課題名	手根管外鏡視開放術の鏡視所見に関する研究
申請者	整形外科科学講座 教授 角谷 賢一郎
研究統括責任者	整形外科科学講座 講師 佐藤 光太郎
主任研究者	整形外科科学講座 講師 佐藤 光太郎
分担研究者	整形外科科学講座 助教 三又 義訓

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（櫻庭実委員、岸光男副委員長）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- ・申請書 8.1.1 の取扱う情報の種類について、「匿名加工情報」は該当しないためチェックを外し、「要配慮個人情報」にチェックをすること。
- ・申請書 9.1.2.2 の情報公開文書の公開場所について、「実施中の臨床研究に関する情報公開ページ」に修正すること。
- ・申請書 10 について、計画書 8.2.2 に代諾者は該当しない旨記載があることから、「該当なし」に修正すること。
- ・申請書 13.2.2 の C 保管終了予定年月日について、計画書 8.3.5.1 に情報を研究終了日から 5 年 / 結果公表日から 3 年（いずれか遅い日）まで保管する旨記載があることから、2033 年 12 月 31 日に修正すること。
- ・計画書全体について、句読点（。、）とピリオドカンマ（.、）が混在しているため、統一すること。
- ・計画書表紙の作成履歴について、version 0 が「草稿」、version1.0 が「作成」、version1.1 は「改訂」などとなるため整理すること。なお、以降のバージョンの更新については計画書 8.9 を参考にすること。
- ・計画書 0.3.1 および 3.1 の母集団について、事前審査で対象期間・対象機関・診療科などの条件を記載するよう求めた際に、計画書 0.4 に記載があるため修正しないと回答があったが、計画書 0.4 はあくまで単なる期間の記載であり、基準ではない。対象者の選定基準を記載する必要があるため、母集団は「2020 年 1 月 1 日から 2027 年 12 月 31 日までに岩手医科大学附属病院整形外科で手根管症候群の診断を受け、手根管外鏡視開放術を行った患者」の記載に修正すること。
- ・計画書 4.2 設定根拠について、対象期間が 2020 年 1 月 1 日～2027 年 12 月 31 日であることから、本項目も「2020 年 1 月 1 日～2027 年 12 月 31 日」となると思われるため修正すること。
- ・計画書 5.4 研究期間について、計画書 0.4 の記載から、「～2028 年 12 月 31 日」までと思われるため修正すること。
- ・計画書 5.7 解析方法について、「統計解析を行う」という表現は具体性に欠けるため、5 種類の所見ごとにグレードで 4 群に分けて、質問票の項目との関連を検討するというのであればそのように記載し、「連続変数は平均±標準偏差で示す」という記述は不要であるため削除すること。また、「X2」は「 χ^2 」または「カイ二乗」、「Fisher exact test」は「Fisher's exact test」または「フィッシャーの直接確率検定」など、正しい記載に修正すること。
- ・計画書 8.3.3 の組織的安全管理について、本研究は単施設で行うので「研究代表者」は不適切である。「研究責任者」に修正すること。
- ・倫理教育未受講の研究者は研究開始までに受講すること。（助言）

2)

受付番号	MH2026-004
課題名	子宮体がんにおける診断、治療法の効果、予後予測因子の探索
申請者	産婦人科学講座 教授 馬場 長

研究統括責任者	産婦人科学講座 教授 馬場 長
主任研究者	産婦人科学講座 教授 馬場 長 産婦人科学講座 助教 佐藤 翔
分担研究者	(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（黒田英克委員、鈴木伸宏委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- ・申請書 6.1 の研究の対象の記載について、計画書 0.2 を確認のうえ、本項目を修正すること。
- ・申請書 10 について、事前審査で代諾者について確認した際に設定しない旨回答されたが、本研究の対象者に死者は含まれないか。代諾を必要とする対象がいる場合は該当ありに修正すること。
- ・申請書 11.7 について、事前審査で本研究において知見が得られる可能性があるか確認した際に、研究段階の情報に関しては、治療法も確立していないため研究対象者に研究結果は開示しないため、可能性なしとした旨回答があったが、開示はしないが可能性がある場合は、「可能性あり」が該当するため、実態に合うように修正すること。
- ・計画書表紙の作成履歴について、version1.1 は「改訂」となるため修正すること。なお、以降のバージョンの更新については計画書 8.9 を参考にすること。
- ・計画書 0.1. シェーマおよび 1. 目的について、研究の対象者の記載が異なるため、「生検または手術を受ける子宮体がん疑いもしくは子宮体がん患者」に修正すること。
- ・計画書 2.3.2 の②について、「対応表」は廃止された用語なので、「個人を特定するための情報（表）」に表現を言い換えること。
- ・計画書 5.5. 主要評価項目について、事前審査で、研究目的を達成するために最も重要となる項目 1 つが該当する、もしくは設定不可か、確認のうえ修正するよう指摘したが、回答では「設定不可」、計画書では「組織を用いた抗腫瘍効果の評価法の確立」と記載があり、回答と修正が一致していない。確認のうえ、設定不可とする場合はなぜ設定不可となるのか計画書に記載すること。設定する場合は、研究目的を達成するために最も重要となる項目 1 つを記載すること。
- ・計画書 5.6 副次評価項目について、「上記を用いた治療法の効果」とは何か。計画書 5.5 の指摘と合わせて修正すること。
- ・計画書 8.2.3 について、代諾者について申請書 10 の指摘と合わせて確認のうえ、修正すること。
- ・計画書 8.3.2.1 の個人情報②について、「有」が選択されているが、何が該当するか。個人を特定するための情報（表）を想定している場合、それは本項目には該当しないので「無」に修正すること。
- ・計画書 8.3.3 の組織的安全管理について、「研究者内」は「研究者」に修正すること。
- ・計画書 8.4 遺伝カウンセリングの体制について、事前審査で遺伝カウンセリングの体制を整え、様式の例文を参考に、遺伝カウンセリングの担当者に了承を得たうえで記載すること、の指摘に対して、本研究では体細胞支援解析であり必要ないと回答があったが、体細胞変異解析ではないか。また、ゲノム解析を行うので必要ではないか。確認のうえ必要な場合は対応すること。
- ・計画書 8.6 について、「研究段階の情報に関しては、治療法も確立していないため研究対象者に研究結果は開示しない。ただし、通常診療内の情報に関しては積み上げ診療として説明する。」とあるが、ゲノム解析を行うことから、偶発的所見の可能性があるのではないか。申請書 11.7 と合わせて確認すること。また、「積み上げ診療として説明する。」とはどういう意味か。積み上げ診療は本項目において不適切と思われるため、修正すること。
- ・計画書 9.4. 共同研究機関について、委託機関と共同研究機関は立場が異なるので、委託機関という項目に変更するか、共同研究機関は「該当しない」と明記し、その他に委託機関の項目を追加すること。
- ・計画書 11 利益相反の「—また本研究に関わる研究者は、MSD 株式会社およびアストラゼネカ株式会社から上記以外の利害関係がなく、その他の開示すべき利益相反はない。」の記載について、本研究において MSD 社、アストラゼネカ社は利害関係企業ではないので、研究者との間に

利益関係があってもなくても研究には影響なく、当該2社のみと研究者の間に利益関係が無いことを開示しても意味はない。そのため、『—また本研究に関わる研究者は、本研究に参与する企業等と上記以外の利害関係がなく、その他の開示すべき利益相反はない。』に修正すること。

- ・説明文書表紙の作成履歴について、version1.1は「改訂」となるため修正すること。
- ・説明文書 4. この研究の対象となる方についての1つ目と2つ目の・が分かりづらいので、対象者が理解できるように整理して記載すること。
- ・説明文書 11. 個人情報の保護・研究結果の取扱いについて、計画書 8.6 の指摘と合わせて、偶発的所見についての取扱いについても追記すること。
- ・説明文書 12. 利益相反の「—また本研究に関わる研究者は、MSD 株式会社およびアストラゼネカ株式会社から上記以外の利害関係がなく、その他の開示すべき利益相反はない。」の記載について、本研究において MSD 社、アストラゼネカ社は利害関係企業ではないので、研究者との間に利益関係があってもなくても研究には影響なく、当該2社のみと研究者の間に利益関係が無いことを開示しても意味はない。そのため、『—また本研究に関わる研究者は、本研究に参与する企業等と上記以外の利害関係がなく、その他の開示すべき利益相反はない。』に修正すること。
- ・説明文書 13. 健康被害が生じた場合の対応・補償について、記載が不十分と思われるため、「侵襲がなく健康被害の可能性はないことから、補償の対応も行わない」旨を追記すること。
- ・説明文書 14 について、共同研究機関はないので、「また、共同研究機関に提供する場合があります。」の記載を削除するか、「将来的に共同研究になる可能性がある」など、研究計画に合った記載に修正すること。
- ・同意撤回書について、同意撤回のレベルとは何か。既に解析された情報をどのように削除するのか。本学の様式を参考に修正すること。

3)

受付番号	MH2026-005
課題名	血管評価を目的とした造影 CT 検査における画質および線量管理の実態に関する後ろ向き観察研究
申請者	放射線医学講座 教授 吉岡 邦浩
研究統括責任者	放射線医学講座 講師 田村 明生
主任研究者	放射線医学講座 講師 田村 明生
分担研究者	(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（伊藤智範副委員長、山田浩之委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- ・計画書 0.1 シェーマ 1つ目の箱について、オプトアウト前に研究を実施するように読み取れるため、「を抽出する」の記載は削除すること。
- ・計画書 0.3 および 3 について、母集団と適格基準で重複した記載が見受けられるので、記載を整理すること。また、母集団の「なお、研究への参加については～」は削除し、除外基準に、「研究参加拒否申出あった患者」の条件を追加すること。
- ・計画書 0.3.2 および 3.2 適格基準について、箇条書きにするなど分かりやすく記載すること。
- ・計画書 3.3 除外基準について、人を対象とした研究であることから、0.3.3 の記載と合わせて文末は「～の患者」に修正すること。
- ・計画書 5.3.1 研究方法について、人を対象とした研究であることから、1行目の「造影 CT 検査を対象とした」の記載は修正すること。
- ・情報公開文書 6 について、本研究では代諾者は認めないと思われるので「代理人」に関する記載は削除すること。

4)

受付番号	MH2026-006
課題名	自己抗体陽性症例の吸着法及び間接抗グロブリン試験法の選択における同種

	抗体回収率に関する包括的検討
申請者	臨床検査医学・感染症学講座 准教授 藤原 亨
研究統括責任者	臨床検査医学・感染症学講座 准教授 藤原 亨
主任研究者	臨床検査医学・感染症学講座 准教授 藤原 亨 中央臨床検査部 臨床検査技師 佐々木 哲也

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（伊藤智範副委員長、田浦太志委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査①による再審査）とした。

【判定理由】

本研究は、目的がAとBで2つ設定されているが、目的ごとに対象者が異なることから、それぞれ別の研究として計画書を作成し、申請すること。

【審議内容】

- 申請書6 研究の概要について、観察研究①は前方視的に修正すること。また、観察研究④の「後ろ向きコホート研究」のチェックは外すこと。
- 申請書6.4について、本学の症例数が10例とされているが、単施設研究のため、30例すべてが本学の症例となるのではないかと適切な記載となるように修正すること。
- 申請書13.2.1について、計画書8.3.5.1に患者検体も研究終了日から10年／結果公表日から5年（いずれか遅い日）まで保管する旨記載があることから、保管するに修正し、A～Fを記載すること。
- 申請書13.2.2のAについて、研究課題名が記載されているが、資料名を記載すること。
- 計画書0.4および4.1のBについて、事前審査の際に、症例数の設定は行わず、具体的な症例数の記載をしないこととした旨回答があったが、研究で必要な症例数の設定は可能と思われる。当然実数として誤差が生じることはあるが、予定症例数を明記すること。
- 計画書0.4について、研究期間が他の記載と異なることから修正すること。
- 計画書0.4および5.4の対象期間について、「2028年の3月31日」の「の」は削除すること。
- 計画書4.2設定根拠について、研究で必要な症例数の設定根拠なので、結果の数とは違うことを踏まえて記載すること。また、「先行研究はないため、確実な症例数は設定しない。」について、「暫定的に20例とする」と記載が矛盾しているため、確実な症例数は設定しないは削除すること。
- 計画書8.2.1の1行目「自らの研究機関において保有している既存試料」について、「通常診療内で取得した検体」の記載に修正すること。
- 計画書8.2.1の1行目について、「匿名化」は廃止された用語のため、「個人が特定されないように加工」などの表現に言い換えること。

5)

受付番号	MH2026-008
課題名	短期入院主体病院におけるオールバリエーション分析法を用いたクリニカルパス運用の質改善に関する検討
申請者	睡眠医療学科 教授 西島 嗣生
研究統括責任者	睡眠医療学科 特任講師 細川 敬輔
主任研究者	睡眠医療学科 特任講師 細川 敬輔
分担研究者	睡眠医療学科 教授 西島 嗣生 内丸メディカルセンター6階病棟 看護師 高橋 真由美

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（櫻庭実委員、高橋弘江委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- 申請書16について、計画書12では「その権利は研究者あるいは岩手医科大学に帰属する。」と記載があるため、修正すること。
- 計画書の目次について、本文と合っていないため、更新すること。
- 計画書3.2除外基準について、誤記と思われる「s s s s」は削除すること。

6)

受付番号	MH2026-009
課題名	法医解剖における薬歴報告書の運用実態と有用性の検討
申請者	法科学講座法医学分野 教授 高宮 正隆
研究統括責任者	法科学講座法医学分野 教授 高宮 正隆
主任研究者	法科学講座法医学分野 教授 高宮 正隆 法科学講座法医学分野 助教 森川 剛

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（黒田英克委員、田浦太志委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- 申請書 6 研究の概要について、観察研究④の「後ろ向きコホート研究」のチェックは外すこと。
- 申請書 9.1.2.2 の公開場所について、計画書 8.2.1 で法科学講座法医学分野のホームページに公開する旨記載があることから、「または本学の実施中の臨床研究に関する情報公開ページ」の記載は削除すること。
- 申請書 13.2.2 について、計画書 8.3.5.1 において「研究終了日から 5 年、または研究結果公表日から 3 年のいずれか遅い日まで、本研究用 PC 内の指定フォルダに保存する」と記載があることから、「保管する」を選択し、A～F を記載すること。
- 情報公開文書 5 の 4 行目について、「対応表」は廃止された用語なので「個人を特定するための情報(表)」に表現を言い換えること。
- 情報公開文書 5 の 9 行目について、研究終了後廃棄すると記載があるが、計画書 8.3.5.1 と齟齬があるため、「研究用データは研究終了日から 5 年、または研究結果公表日から 3 年のいずれか遅い日まで、本研究用 PC 内の指定フォルダに保存する。」に修正すること。
- 情報公開文書 5 の 10 行目について、情報公開場所の「（実施中の臨床研究に関する情報公開）」の記載を削除すること。

7)

受付番号	MH2026-010
課題名	長期地域医療臨床実習におけるアンケート調査解析と OSCE 成績を用いた多角的評価
申請者	医学教育学講座地域医療学分野 教授 伊藤 智範
研究統括責任者	医学教育学講座地域医療学分野 教授 伊藤 智範
主任研究者	医学教育学講座地域医療学分野 教授 伊藤 智範
分担研究者	医学教育学講座医学教育学分野 教授 高田 亮 医学教育学講座医学教育学分野 技術員 松村 翼

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（丹野高三副委員長、廣瀬清英委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- 申請書 8.1.1 匿名化の有無について、本研究は③「匿名化し、対応表を作成する。」が該当するため修正すること。
- 計画書表紙の作成履歴について、version1.1 は「作成」ではなく「改訂」に修正すること。なお、以降のバージョンの更新の際は、計画書 7.9 を参考にすること。
- 計画書 7.2.1 について、情報公開文書の公開場所は、「本学研究助成課のホームページ」ではなく「実施中の臨床研究に関する情報公開ページ」に修正すること。
- 計画書 7.3.2.1 について、本研究で扱う情報は氏名などを削除し、個人が特定できない状態で用いられるので、個人情報②の具体例に記載されている「氏名」は不要なため削除すること。
- 計画書 7.3.3 について、組織的安全管理の権限は「個人情報管理者」が該当するため、修正すること。

8)

受付番号	MH2026-011
課題名	唾液中の活性型 Substance P 濃度の低下が嚥下機能の低下に及ぼす影響
申請者	歯科補綴学講座有床義歯・口腔リハビリテーション学分野 教授 小林 琢也
研究統括責任者	歯科補綴学講座有床義歯・口腔リハビリテーション学分野 教授 小林 琢也
主任研究者	歯科補綴学講座有床義歯・口腔リハビリテーション学分野 教授 小林 琢也
分担研究者	(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（古山和道委員、原田英光委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- 申請書 8.1.1 について、該当なしをチェックしていますが、本研究で要配慮個人情報（診療情報）を扱うことから、「該当あり」に修正すること。個人情報管理者は計画書 8.3.3 の記載から島田先生が該当するため、資格も含めて記載すること。また、取扱う情報の種類については「要配慮個人情報」を扱うため、チェックすること。匿名化の有無は③が該当するため、管理方法も含めて計画書と齟齬が無いように記載すること。
- 申請書 11.6（補償の種類）について、具体的内容は、「通常の保険診療で対応する」などと記載すること。
- 計画書のヘッダーについて、表紙の作成履歴と合わせて最新版に更新すること。
- 計画書全体の岩手医科大学附属内丸メディカルセンターの機関名について、正しい記載に修正すること。（附属のあとの「病院」は削除する）
- 計画書のシェーマについて、本委員会ホームページで公開している最新の計画書の様式例を参考に簡潔に記載すること。
- 計画書目次について、エラー表示があるので最新版に更新すること。
- 計画書 3.3 除外基準は(5)まで記載があるが、修正された計画書 0.3.3 と記載が異なるため、記載を統一すること。
- 計画書 0.3.3 および 3.3 除外基準について、事前審査で代諾者について指摘した際に「基本的には高齢者を対象として研究を進めようと考えております。具体的に何歳以上という年齢制限はありませんが、未成年者を対象にすることは考えておりません。」と回答があったが、未成年者を除外基準に含めるべきではないか。確認のうえ修正すること。
- 計画書 5.3.1 について、同意を取得して検査した結果から、嚥下機能低下群と嚥下機能維持群で 25 名ずつ分けるような研究計画になっているが、これまでの診療実績から、どれくらいのペースで嚥下機能低下群と嚥下機能維持群それぞれ 25 例集まると考えているか、確認すること。また、着目する群が 25 例揃うまで登録するのか、各群で症例数が偏っても問題ないとするのか、どのように登録するか不明であるため、分かるように記載すること。
- 計画書 8.5 について、謝礼が無い旨追記すること。
- 説明文書の機関名について、計画書の指摘と合わせて、正しい記載に修正すること。

9)

受付番号	MH2026-012
課題名	口腔周囲筋機能と不正咬合との関連に関する検討
申請者	口腔保健育成学講座歯科矯正学分野 教授 佐藤 和朗
研究統括責任者	口腔保健育成学講座歯科矯正学分野 教授 佐藤 和朗
主任研究者	口腔保健育成学講座歯科矯正学分野 教授 佐藤 和朗
分担研究者	(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（山田浩之委員、遠藤龍人副委員長）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- 申請書 10 について、該当なしにチェックしているが、対象の適格基準において全年齢を対象と

する旨記載があることから、本研究の対象に未成年者が含まれるのではないかと。含まれる場合は、(対象者)はBとF、(具体的な手続き方法)はEにチェックすること。

- ・計画書表紙の作成履歴について、version1.1は「改訂」となるため、修正すること。なお、以降のバージョンの更新の際は、計画書8.9を参考にすること。
- ・計画書8.2.1について、申請書10の指摘と合わせて確認のうえ、未成年を含む場合は、最後の文章を「～対象者および代諾者が研究協力を拒否する～」に修正すること。
- ・計画書8.2.3について、申請書10の指摘と合わせて確認のうえ、未成年者を対象に含む場合は代諾者を設定する旨記載すること。
- ・情報公開文書8について、未成年が対象に含まれる場合は、代諾者を認めることが分かるように、4行目を「～患者さんおよび代諾の方に～」に修正すること。

10)

受付番号	MH2026-013
課題名	肺腺がんに対する OTS-Probes for EGFR mutation monitoring using Drop-Off digital PCR (OEDO) の分析性能試験 : OEDO-1 study
申請者	創薬・医療機器開発部門 特任教授 西塚 哲
研究統括責任者	創薬・医療機器開発部門 特任教授 西塚 哲
主任研究者	創薬・医療機器開発部門 特任教授 西塚 哲
分担研究者	(別紙参照)

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（鈴木伸宏委員、古山和道委員）による書面審査を行った結果、本課題を継続審査（迅速審査②による再審査）とした。

【審議内容】

- ・申請書5責任の所在について、学外の分担機関の責任者の記載は不要なため、削除すること。
- ・申請書10について、計画書8.2.1に「代理人が研究協力を拒否する機会を保障する」とあるが、それはどのような対象者なのか。(対象者)および(具体的な手続き方法)を適切に選択すること。
- ・申請書13.1.2のCについて、QD社との授受は「□提供に関する記録(任意様式)及び届出書(任意様式)を作成して保管する。」が該当すると思われるため、チェックを修正すること。
- ・申請書13.2.1のCについて、計画書8.3.3.1では研究終了日から5年保存すると記載があり、2034年3月31日まで保存すると思われるため修正すること。
- ・申請書13.2.1のDについて、計画書8.3.3.1では阿保先生が保管責任者となっているため、修正すること。
- ・申請書13.2.2のCについて、計画書8.3.3.1では研究終了日から5年保存するとあり、2034年3月31日まで保存すると思われるため修正すること。
- ・申請書13.2.2のDについて、計画書8.3.3.1では阿保先生が保管責任者となっているため、修正すること。
- ・計画書表紙の作成履歴について、version1.1は「改訂」となるため修正すること。なお、以降のバージョンの更新の際は、計画書8.9を参考にすること。
- ・計画書のヘッダーについて、計画書表紙の作成履歴の最新のバージョンと揃えること。
- ・計画書0.1シェーマについて、検体の流れについての記載はあるが、情報の流れの記載はないので、解析結果の報告と情報を合わせて検証するといった箱を追加することで、自然な流れになると思われる。修正すること。なお、本学からRDKK社に直接検体は提供しないと思われるため、本学→QD社→RDKK社の流れとなることと分かるように記載を修正すること。
- ・計画書0.4について、各機関の症例数の「程度」の記載は削除すること。
- ・計画書4.1について、「程度」の記載を削除し、不確定ではなく、研究で必要な数の設定の記載に修正すること。もし、不確定などと記載を希望する場合は、計画書4.2設定根拠にその旨記載すること。
- ・計画書5.3.1について、計画書0.1シェーマでは、本学および宮城県立がんセンター→QD社→RDKK社に試料が流れるように記載があるが、計画書5.3.1の3)では、QD社→創薬医療機器開発部門の流れでドット数の測定を行うように読み取れる。また、RDKK社が本研究で何を行うのか記載が無い分分かるように記載すること。シェーマと調査方法で齟齬があるため、正しい

流れとなるように修正すること。

- ・計画書 8.3.2.3 について、【研究対象者と研究用の番号 (ID) を結びつける情報(表)の作成と管理】のチェックがないため、該当する C にチェックすること。
- ・計画書 8.3.1 安全管理責任体制の項目番号は、8.3.3 となるのではないか。以降の項目番号も整理が必要と思われるため、確認のうえ修正すること。また、項目が変更となるため、目次も修正すること。
- ・計画書 8.6 について、偶発的所見があった場合に対象者に対して説明するかしないか明記すること。
- ・計画書 9.6 の項目を設けて、委託機関について記載すること。
- ・他の研究機関の試料・情報の提供に関する届出書 (QD 社、RDKK 社両方) について、提供する試料・情報の取得の項目の「その他 (個人識別符号) を含む」は該当しないと思われるためチェックを外すこと。
- ・他の研究機関への試料・情報の提供に関する記録 (RDKK 社用) について、宛先は QD 社ではなく、RDKK 社宛となるため修正すること。
- ・企業等から本研究に関わりのある役務の提供は契約を締結すること。(助言)
- ・研究統括責任者が利害関係企業より得ている個人的利益が臨床研究法における基準額を超過していることから、責任者を交代するか責任者であることについて合理的な理由を挙げる。(助言)
- ・研究統括責任者は、本研究とかかわりのある企業等に在籍する研究者が研究に関与する場合、原則として該当する研究者に被験者のリクルート及びデータ管理、モニタリング、統計・解析・評価に関する業務には関与させないこと。(助言)
- ・利害関係企業より業務委託収入を得ていること、研究者個人が利害関係企業より業務報酬を得ていることから、研究結果に偏りが発生しないよう留意すること。(助言)

11)

受付番号	MH2026-014
課題名	フェンタニル初回貼付患者での疼痛コントロールに影響を及ぼすリスク因子に関する後ろ向き観察研究
申請者	臨床薬学講座臨床薬剤学分野/薬剤部 教授/薬剤部長 工藤 賢三
研究統括責任者	臨床薬学講座臨床薬剤学分野/薬剤部 教授/薬剤部長 工藤 賢三
主任研究者	臨床薬学講座臨床薬剤学分野/薬剤部 教授/薬剤部長 工藤 賢三 臨床薬学講座臨床薬剤学分野/薬剤部 講師/主任薬剤師 高橋 宏彰
分担研究者	臨床薬学講座臨床薬剤学分野/薬剤部 助教/薬剤師 氏家 悠貴 薬剤部 薬剤師 大久保 春香

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（高橋寛副委員長、伊藤奈央委員）による書面審査を行った結果、本課題を承認とした。

【審議内容】

- ・特に意見は寄せられなかった。

12)

受付番号	MH2026-015
課題名	精神看護学演習における当事者・家族の語りが生徒にもたらす学び—リアクションペーパーの分析を通して—
申請者	地域包括ケア講座 教授 遠藤 太
研究統括責任者	地域包括ケア講座 講師 高崎 邦子
主任研究者	地域包括ケア講座 講師 高崎 邦子
分担研究者	地域包括ケア講座 教授 遠藤 太 地域包括ケア講座 准教授 熊地 美枝

【審議結果】

提出された倫理審査申請書類等について、2名の倫理委員会委員（伊藤奈央委員、廣瀬清英委

員)による書面審査を行った結果、本課題を継続審査(迅速審査②による再審査)とした。

【審議内容】

- ・計画書 2.3.2 の最後の記載について、「～一切不利益が生じないことを文書で十分に説明したうえで本研究への協力を依頼する。」は、個別同意を行うように読み取れてしまうため、「～一切不利益が生じないことを情報公開文書に記載する」に修正すること。

承認済み研究課題の実施計画変更・追加申請（4月2日判定分）審査結果

倫理審査委員会規程に基づいた迅速審査により、伊藤倫理審査委員会委員長、遠藤副委員長の判断で、以下の申請を承認した。

1)

受付番号	01354
課題名	法医学捜査のための耳介の分割計測と形態解析に関する検討
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更（2027年03月31日） その他（共同研究機関の追加、解析方法の追加）

【審議結果】

- 本研究は各研究機関で倫理審査、研究実施許可を得る必要である。研究を実施する際は各研究機関で適切な手続きを踏んで研究を行うこと。（助言）

2)

受付番号	H28-10
課題名	JCOG1409：臨床病期 I/II/III 食道癌（T4 を除く）に対する胸腔鏡下手術と開胸手術のランダム化比較第 III 相試験
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> その他（研究代表者の変更、副次的解析の追加、有害事象項目の追加、JCOG 代表者の変更、参加施設変更、研究グループ担当者の変更）

3)

受付番号	HG2019-003
課題名	腫瘍中変異遺伝子由来血中循環 DNA による腫瘍再発モニタリングに関する観察研究 (Monitoring Recurrence of Individual tumor by serial Observation of Known gene Alterations: MORIOKA study)
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更（2028年05月28日） 文書等の変更（研究計画書・情報公開文書） その他（放射線診断の測定項目の追加、不随研究の追記、利益相反の更新、分担研究者の追加、）

【審議結果】

- 研究者が利害関係企業より業務報酬を得ていることから、研究結果に偏りが発生しないよう留意すること。（助言）

4)

受付番号	HG2022-001
課題名	がん患者における腫瘍由来血中遊離 DNA のデジタル PCR（dPCR）を用いた迅速診断「OTS アッセイ」に係る観察研究
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 共同研究機関の追加 文書等の変更（研究計画書、同意書・同意撤回書、情報公開文書） その他（所属の変更、記載整備）

5)

受付番号	MH2020-011
課題名	2型糖尿病における褐色脂肪細胞由来因子と糖尿病合併症、動脈硬化性指標との関連についての後方視的研究
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更（2031年03月31日）

6)

受付番号	MH2020-056
課題名	進行直腸癌に対するロボット支援下直腸切除術の腫瘍学的妥当性に関する多施設共

	同, 前向き registry 研究
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更 (2025 年 11 月 30 日) その他 (研究代表者・研究事務局の変更、共同研究機関の変更、学内研究責任者の変更、学内分担研究者の削除)

7)

受付番号	MH2020-214
課題名	自殺未遂者ケアガイドラインに関する実態把握へのアンケート調査研究
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更 (2027 年 03 月 31 日) 文書等の変更 (研究実施計画書) その他 (分担研究者の役職名変更、分担研究者の削除)

8)

受付番号	MH2020-217
課題名	早産・低出生体重児における慢性腎臓病発症のリスク因子解析
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更 (2028 年 03 月 31 日) 文書等の変更 (研究計画書、情報公開文書) その他 (個人情報管理者の変更)

9)

受付番号	MH2022-022
課題名	生体試料を用いた服薬コンプライアンスの客観的評価
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更 (2027 年 03 月 31 日) その他 (分担者研究者の削除)

10)

受付番号	MH2022-084
課題名	Dynamic-CT における胆管癌の適切なプロトコル確立のための検討
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更 (2029 年 12 月 31 日)

11)

受付番号	MH2023-047
課題名	多発性骨髄腫幹細胞/前駆細胞に特異的に発現する標的分子を標的とした新規創薬の妥当性の検証
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更 (2028 年 03 月 31 日)

12)

受付番号	MH2023-071
課題名	岩手県医療等ビッグデータを用いた医療実態調査
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> 研究期間の変更 (2028 年 03 月 31 日) 文書等の変更 (研究計画書、情報公開文書)

13)

受付番号	MH2023-106
課題名	くも膜下出血術後の脳血管れん縮予防薬クラゾセンタン投与下の体内水分貯留に関連した副作用軽減を目的とした五苓散併用療法の効果検証
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> その他 (検査項目の追加)

14)

受付番号	MH2023-127
課題名	子どもの先天性難聴の遺伝学的検査の意味：親の視点からどう捉えられているか

	研究3 インタビュー調査
変更内容	・研究期間の変更 (2027年03月31日)

15)

受付番号	MH2024-034
課題名	東日本大震災被災と新型コロナウイルス感染症拡大に対する予防行動による社会参加制限が要介護発生に与える影響
変更内容	・研究期間の変更 (2027年03月31日)

16)

受付番号	MH2024-108
課題名	開業医と連携した県境地域における難聴児支援の現状に関する検討～保護者および医療従事者並びに関係職種へのアンケート調査
変更内容	・研究期間の変更 (2026年08月31日) ・その他 (研究実施場所住所変更、研究分担者の職位変更)

17)

受付番号	MH2024-146
課題名	Steatotic Liver Disease の非侵襲的診断アルゴリズム構築と生命予後予測モデル開発：多施設共同後方視的大規模データベース研究
変更内容	・対象疾患の追加・変更 ・共同研究機関の追加・変更 ・研究期間の変更 (2030年03月31日) ・文書等の変更 (研究計画書) ・その他 (情報共有方法の追記)

18)

受付番号	MH2025-011
課題名	医療系学生を対象とした患者のストーリーテリングによる教育の観察研究
変更内容	・研究期間の変更 (2029年03月31日) ・研究対象 (被験者) の人数変更等

19)

受付番号	MH2025-016
課題名	がんゲノムプロファイリング検査の現状と二次的所見の家族間情報伝達に関連する要因の検討
変更内容	・研究期間の変更 (2027年03月31日)

20)

受付番号	MH2025-053
課題名	精神科看護師のワーク・エンゲージメントとワーク・モチベーションに対する組織風土および道徳的苦悩の影響分析
変更内容	・研究期間の変更 (2027年07月31日) ・文書等の変更 (研究計画書、説明同意文書、QRコード付き案内チラシ)

21)

受付番号	MH2025-081
課題名	基本臨床性能評価試験 総合血液分析装置 Atellica HEMA 580
変更内容	・研究期間の変更 (登録期間の変更)

22)

受付番号	MH2025-090
課題名	岩手県における心原性ショック患者の臨床転帰に関する調査
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> ・共同研究機関の追加・変更 ・研究対象（被験者）の人数変更等

23)

受付番号	MH2025-099
課題名	乾癬および乾癬性関節炎の診断マーカーに関する研究
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文書等の変更（研究計画書、説明同意文書） ・その他（病院再編に伴う変更、改組に伴う記載整備）

24)

受付番号	MH2025-110
課題名	終末期がん患者における末梢挿入型中心静脈カテーテル（PICC）の有用性についての検討
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> ・研究期間の変更（2026年06月30日）

25)

受付番号	MH2025-111
課題名	終末期がん患者のせん妄に対するアセナピン舌下錠およびレンボレキサント錠併用療法の臨床的有用性の検討
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> ・研究期間の変更（2027年03月31日）

26)

受付番号	MH2025-118
課題名	肝硬変患者における体組成および握力と予後との関連に関する多施設共同後ろ向き研究
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> ・文書等の変更（研究計画書、データシート） ・その他（記載整備）

27)

受付番号	MH2025-126
課題名	白板症における内視鏡診断と病理組織診断の検討
変更内容	<ul style="list-style-type: none"> ・研究協力機関の追加・変更

以上